

がん治療に関わる職種編④

栄養士のお仕事

Q.がん治療にどのように関わっていますか？

がんの治療や療養中に食事の摂取量が低下したり、栄養障害など発生した際に面談しております。
要因は様々で担がん（何らかのがんがあること）によるもの、がん治療自体によるもの、がん治療の副作用によるものなど、複数の要因が絡み合っ問題が発生します。
特に食事が進まない時、原因や対応方法を知っていただき患者さんに合った方法を一緒に考えていきます。

Q.相談するタイミングは？

いつでもご相談ください。
治療を継続することで、食事量が減るなど食べることに
関して悩みを持つ方がいらっしゃいます。
そのような時にご相談ください。



Q.相談したい場合はどうしたらいいですか？

基本的には予約制となっております。
お困りの方は担当医や看護師にお声がけください。
当日でも相談可能ですので、まずは都合のよい日時をお伝え
ください。（ご家族の方も同席可）

* 栄養食事指導は指導料の算定あり

Q.どこで面談できますか？

相談場所は

<外来> 1号館2階・栄養相談室

3号館1階・化学療法室など

<入院> 各病棟やカンファレンスルームなどで
面談しています。



Q.どのようなことが相談できますか？

たとえば・・・

- ・患者個々の状態にあった食事内容の調整や提案
(嘔心・嘔吐・口内炎・味覚障害・食思不振対応など)
- ・嗜好に合わせ、食べた方がいい物、控えた方がいい物
- ・自炊ができない時の対応、お弁当各社の紹介や総菜利用
- ・食事と併用する補助食品の使い方

*一番生理的な方法である『口から食事を摂ること』を基本にお伝えしています。



Q.栄養士さんからひとこと

近年増加しているがん患者のサポートは、多角的に行えるようになっていきます。

食事療法や栄養管理に関しても、医師・看護師・医療スタッフ間で連携を図り、患者さんやご家族と一緒に考えサポートさせていただきます。

食事や栄養について困ったときは栄養士へ相談を。

2023年3月作成